

自己アピール・神女ファミリー入試

大 学

短期大学

■ 日程・選考方法

大学・短期大学共通

公募制推薦入試と併願受験する場合は、各入試ページをご確認ください。

方式	専願/併願	検定料	出願期間	試験日	試験時間
前期	自己アピール	専願 35,000円	2023年 10月18日(水)~10月26日(木) [消印有効]	11月3日(金・祝)	基礎学力試験 13:00~14:00 ^{注1)} 面接試験 1科目受験者 14:40~ ^{注3)} 2科目受験者 15:40~ ^{注3)}
	神女ファミリー				
後期	自己アピール	専願 35,000円	2023年 10月18日(水)~11月24日(金) [消印有効]	12月3日(日)	基礎学力試験 9:30~10:30 ^{注2)} 面接試験 1科目受験者 11:10~ ^{注3)} 2科目受験者 13:00~ ^{注3)}
	神女ファミリー				

注1) 公募制推薦入試前期Bスタンダード型と併願受験する場合は基礎学力試験は、13:00~15:10。前期B1科目型と併願受験する場合は、基礎学力試験は、13:00~14:00になります。
注2) 公募制推薦入試後期スタンダード型と併願受験する場合は基礎学力試験は、9:30~11:40。1科目型と併願受験する場合は、基礎学力試験は、9:30~10:30になります。
注3) 面接終了時刻は受験者数によって異なります。

	合格発表日	入学手続締切日	WEB可否発表(閲覧可能期間)
前期	11月12日(日)	[2段階納入の場合]	11月11日(土)9:00~ 11月17日(金)17:00
		[一括納入の場合]	
後期	12月10日(日)	[一括納入]	12月9日(土)9:00~ 12月15日(金)17:00
		12月22日(金)	

可否はWEBで確認することができます。詳細は、P.56を参照してください。(学内掲示は行いません)
また、合格通知は合格発表日までに到着するよう速達郵便で通知します。(不合格通知はお送りしません。)

■ 基礎学力試験の出題方法

基礎学力試験は大学・短期大学共通の問題を使用します。また、すべてマークセンス方式で実施します。

■ 基礎学力試験の出題範囲

大学・短期大学共通

英語	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ
国語	国語総合(古文、漢文を除く)
化学	化学基礎

生物	生物基礎
数学	数学Ⅰ、数学A
日本史	日本史B(明治時代末まで)

出題範囲については高等学校学習指導要領に示された内容から出題します。

■ 試験科目

●…必須科目 ○…選択科目

自己アピール入試・神女ファミリー入試【1科目】

	英語	国語	化学	生物	数学	日本史		英語	国語	化学	生物	数学	日本史		英語	国語	化学	生物	数学	日本史
日文	—	●	—	—	—	—	管 栄	○	—	○	○	○	—	総 生	○	○	○	○	○	○
英 米	●	—	—	—	—	—	福 祉	○	○	○	○	○	○	食 栄	○	○	○	○	○	—
国 際	○	—	—	—	—	—	栄 養	○	○	○	○	○	○	幼 教	○	○	○	○	○	○
史 学	○	○	—	—	—	○	看 護	○	—	○	○	○	—							
教 育	○	○	○	○	○	○	心 理	○	○	○	○	○	—							
家 政	○	○	○	○	○	○														

注) 学科・課程名については略称で表記しています。(P.2参照)

■ 出願資格

大学・短期大学共通

次の①から④のいずれかに該当する女子とします。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を2024年3月に卒業見込みの者および2023年3月に卒業した者
- ② 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、かつその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)を2024年3月31日までに修了見込みの者および2023年3月に修了した者
- ③ 前項と同等の資格があると本学が認めた者
- ④ 神女ファミリー入試は4親等以内の親族(祖母や母・姉妹のほか、叔母(伯母)や従姉妹など)に本学園(附属高倉台幼稚園を除く)の卒業生もしくは現在在籍している方がいる者

出願条件・ルール

自己アピール入試、神女ファミリー入試

大学・短期大学共通

- ・ 自己アピール入試と神女ファミリー入試は専願に限ります。
- ・ 専願で合格した場合は、必ず本学に入学することが出願の条件となります。
- ・ 自己アピール入試と神女ファミリー入試は面接を同一時間に実施するため併願受験はできません。また、大学と短大の併願受験もできません。
- ・ 自己アピール入試・神女ファミリー入試のいずれかと公募制推薦入試との併願受験が可能です。自己アピール入試前期と神女ファミリー入試前期は、公募制推薦入試前期Bスタンダード型および前期B1科目型(短大のみ)と共通の入試問題を使用します。また、自己アピール入試後期と神女ファミリー入試後期は、公募制推薦入試後期スタンダード型および後期1科目型(短大のみ)と共通の入試問題を使用します。併願受験する場合は、スタンダード型・1科目型(短大のみ)で受験する科目の中から、自己アピール入試または神女ファミリー入試で可否判定に使用したい科目を出願の際に選んでください。

検定料割引制度について 詳しくはP.6をご覧ください

- ・ 公募制推薦入試(前期・後期)、自己アピール入試(前期・後期)、神女ファミリー入試(前期・後期)の中で複数出願する場合、同時にまとめてセット出願することで入学検定料割引制度の適用を受けることができます。

■ 出願書類 | 大学・短期大学共通 詳しくはP.34をご覧ください。

出願確認票(写真貼付)・調査書・自己推薦書*・親族情報記入票(神女ファミリー入試のみ)

*自己推薦書は、自分が最もアピールしたいことや学科別テーマ(下記参照)に沿った志望動機、入学後の抱負などについて記入してください。本学所定の用紙を使用し、必ず本人の自筆で記入してください。

■ 受験にあたっての主な注意事項

P.29で確認してください。

■ 基礎学力試験の配点と総点および配点率

自己アピール入試		神女ファミリー入試																			
● 配点と総点	● 配点率	● 配点と総点	● 配点率																		
<table border="1"> <tr><th>配点</th><th>総点</th></tr> <tr><td>1科目×50点 自己推薦書・面接 50点</td><td>100点満点</td></tr> </table>	配点	総点	1科目×50点 自己推薦書・面接 50点	100点満点	<table border="1"> <tr><th>基礎学力試験</th><th>自己推薦書・面接</th></tr> <tr><td>50%</td><td>50%</td></tr> </table>	基礎学力試験	自己推薦書・面接	50%	50%	<table border="1"> <tr><th>配点</th><th>総点</th></tr> <tr><td>1科目×60点 自己推薦書・面接 20点 調査書 20点</td><td>100点満点</td></tr> </table>	配点	総点	1科目×60点 自己推薦書・面接 20点 調査書 20点	100点満点	<table border="1"> <tr><th>調査書</th><th>基礎学力試験</th><th>自己推薦書・面接</th></tr> <tr><td>20%</td><td>60%</td><td>20%</td></tr> </table>	調査書	基礎学力試験	自己推薦書・面接	20%	60%	20%
配点	総点																				
1科目×50点 自己推薦書・面接 50点	100点満点																				
基礎学力試験	自己推薦書・面接																				
50%	50%																				
配点	総点																				
1科目×60点 自己推薦書・面接 20点 調査書 20点	100点満点																				
調査書	基礎学力試験	自己推薦書・面接																			
20%	60%	20%																			

■ 試験会場

文学部・家政学部は須磨キャンパス

健康福祉学部・看護学部・心理学部・短期大学はポートアイランドキャンパス

自己推薦書・学科別テーマ

自己アピール入試・神女ファミリー入試で受験する場合、自己推薦書の学科志望欄に希望する学科の志望理由を下記の内容を参考に記入してください。

学部	学科・課程	テーマ	
大 学	文学部	日本語 日本文学科	本学科は、日本語・日本文学に関心を抱き、その歴史的な変遷を視野に入れ、日本の社会・文化の特質を解明することによって、現代社会のさまざまな分野で貢献できる人間の育成を目指し、次のような学生を求めています。 ①日本語・日本文学に関する理解を深め、その知見に基づいて社会に貢献しようとする人。 ②能・狂言、浄瑠璃、歌舞伎などの古典芸能に関心を抱き、日本文化の継承に興味がある人。 ③日本語を用いたコミュニケーションの様態に精通し、それを活かした分野で働くこととする人。 ④外国人のための日本語教育に取り組み、国際交流に尽力しようとする人。
		英語英米 文学科	英語および英米文学・文化、英語教育に強い関心をもち、「異なること」への共感力と想像力を培うことによって国際感覚を身に付け、英語にかかわるさまざまな分野でキャリアを目指す以下の人を求めています。 ①英語、英米文学・文化、英語教育を学ぶことによって将来の夢を実現したいという明確な目的意識をもっている人。 ②さまざまなボランティア活動や課外活動に積極的に取り組み、社会や人々とふれあうことに興味をもっている人。 ③海外ホームステイや学校内外の国際交流プログラムなどに積極的に参加したことのある人、あるいは機会があれば参加したいと考えている人。
		国際教養学科	幅広い実践的な国際教養を身に付け、外国語(英語、中国語/朝鮮語)をコミュニケーションのツールとして学び、国の内外を問わずさまざまな国際分野で活躍でき、また世界の平和と共生のために貢献できる、行動力のある人材の育成を目指しています。そこで次のような点に関する興味や意欲を大切に考えています。 ①グローバルな問題(国際情勢や地球環境)などに興味がある。 ②英語圏だけでなくアジア地域の文化や言語に興味がある。 ③国際協力団体や国際交流団体、ビジネス界などの活動の現場に興味がある。 ④参加体験型学修や学外活動に積極的に参加し行動することに興味がある。
		史学科	以下のような関心や視点をもち、歴史学を深く探究していこうとする人を求めます。 ①日本はもとより世界各地の歴史に対する幅広い視野をもち、文化の発展や交流の歴史を解き明かそうとする人。 ②人間に対する興味を強くもち、人類の活動の所産である考古資料・文献・民俗などを通して歴史を究めようとする人。 ③社会の仕組みに対する関心をもち、現在の政治・経済・社会などの成り立ちを歴史的に解明しようとする人。 ④地域の特質に興味をもち、多くの踏査や比較検討を通して、各地域の成り立ちを歴史的に解明しようとする人。 ⑤女性の視点を活かし、女性史の立場から、あるいは男女の活動の所産として歴史像を描いていこうとする人。
		教育学科	本学科のアドミッション・ポリシーを参考にして、あなたが大学で学びたいことや将来の進路について具体的に盛り込んで、自己推薦文を作成してください。アドミッション・ポリシーは、P.54教育学科を参照してください。
	家政学部	家政学科	本学科のアドミッション・ポリシーを参考にして、あなたが大学で学びたいことや将来の進路について具体的に盛り込んで、自己推薦文を作成してください。アドミッション・ポリシーは、P.54家政学科を参照してください。
		管理栄養士 養成課程	食生活を改善して、健康な体を維持させ、生活の質を向上させることで社会的に貢献することが管理栄養士の重要な任務です。この目標を達成するためには、自分の指導方針を相手に納得させることが必要です。 ①自分の主張を押し付けるのではなく、主張の背景を理論的に説明して、相手を納得させようとする努力をする人。 ②相手の主張にも耳を傾けて、その根拠を解明しようとする思いやりのある人。
	健康福祉学部	社会福祉学科	福祉社会の実現のために、福祉のこころと豊かな人間性を備え、人権を尊重しコミュニケーション能力を高めて主体的に考え行動し、かつ柔軟な発想で開発・実行できる人材を育てます。具体的には、次のような人を求めます。 ①自分を大切にでき、他者のために幸せな社会を実現したいと考えている人。 ②家庭・地域社会・職場を基盤として社会貢献したい人。 ③社会福祉専門職として活躍したい人。
		健康スポーツ 栄養学科	本学科のアドミッション・ポリシーを参考にして、あなたが健康スポーツ栄養学科で学びたいことや将来の進路について具体的な内容を盛り込んで、自己推薦文を作成してください。アドミッション・ポリシーはP.54健康スポーツ栄養学科を参照してください。
	看護学部	看護学科	女性の可能性を拓く豊かな教養と深遠な知の獲得により、様々なコミュニティにおいて自らの役割を果たす判断力と実践力を身につけ、地域や社会の保健医療福祉の場において自立して活動できる看護の専門職を養成します。そのため、次のような人を求めています。 ①看護職として社会に貢献する意欲のある人。 ②人との関わりを大切にしたい人。 ③自らの成長を希求する人。 ④文化と看護の融合に関心がある人。
心理学部		心理学科	本学科のアドミッション・ポリシーを参考にして、あなたが大学で心理学を学ぶことによりどのようなことを修得したいのか、また、将来どのような分野で活躍したいと考えているのか具体的に記した自己推薦文を作成してください。アドミッション・ポリシーはP.55心理学科を参照してください。
短期 大学	総合生活学科	本学科のアドミッション・ポリシーにふさわしい学生を求めています。アドミッション・ポリシーは、P.55総合生活学科を参照してください。	
	食物栄養学科	本学科のアドミッション・ポリシーにふさわしい学生を求めています。アドミッション・ポリシーは、P.55食物栄養学科を参照してください。	
	幼児教育学科	本学科のアドミッション・ポリシーにふさわしい学生を求めています。アドミッション・ポリシーは、P.55幼児教育学科を参照してください。	